

市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.8〕

加藤 隆志・市民有志

本報告は、平成 24 (2012) 年に行われた、市域各地の「団子焼き」行事の様相を記したものである。本館では、平成 14 年 11 月から 18 年 3 月にかけて民俗講座「道祖神を調べる会」を実施するなかで講座の参加者が 16 ~ 18 年の三カ年に渡ってこの行事を調査し、その結果を研究報告第 14 ~ 16 号に報告してきた。その後、講座参加者の有志の方々がさらに 19 年以降の行事を調査しており、本稿は 8 回目の報告となる（注）。今回は調査票の形式ではなく文章にまとめて報告した。なお、各報告中の地区名の後に記した No 番号については、経年変化を示すために「市民が調べた相模原市内の「団子焼き」〔No.3〕」30 ~ 31 頁に掲載した「団子焼き調査表」の地点番号と対応させている。ただ、番号が付していない地域でも、「市民が調べた相模原市内の団子焼き」〔No.4〕 ~ 〔No.7〕」にはすでに報告されている地区もある。

今回は主に相模原地域のデータが報告されているが、いくつかの地区において実施主体などに変化が起きている事例が報告されており、この点は継続して調査を行っていることの利点が示されている。また、座間市や町田市などの隣接する地域での、道祖神石碑に小屋がけをしたり道祖神そのものを燃やすといった特徴的な事例や、情報としては断片的ではあるが自治会等の掲示物も取り上げて多くの地区の実施日時や場所などが確認された。

今後とも、関心を持たれる市民の方々とともに継続的に調査を行い、さまざまなものを資料として用いながらその結果を本書に報告して多くの事例を蓄積し、市域及び周辺地域におけるこの行事の特徴や推移の様相についてさらに捉えていく予定である。

本稿執筆のために資料を整理していたところ、平成 22 (2010) 年に実施した調査成果について一部、前号の研究報告に掲載されていないものがあることが判明した。これらについても改めて本号に掲載している。データをお寄せいただいた方には心からお詫び申し上げます。

注

これまでの成果は、『相模原市立博物館研究報告』第 14 ~ 20 号に掲載した、「市民が調べた相模原市内の「団

子焼き」〔No.1 ~ 7〕」（加藤隆志・道祖神を調べる会）において、第 14 号・2004 年、15 号・2005 年、16 号・2006 年、17 号・2007 年、18 号・2008 年、19 号・2009 年、20 号・2010 年及び 2011 年の様相を報告している。本報告の全体の趣旨については 14 号の No.1 に掲載したほか、講座を実施していた 3 年間における調査全体のまとめと分析は 16 号の No.3 で行った。なお、調査全体の意図や調査成果及び講座の一環としての博物館活動との係わり等については、加藤隆志「地域博物館における市民による調査の実際 - 民俗講座「道祖神を調べる会」の活動から -」『博物館の仕事』 8 人の学芸員編 岩田書院刊 2007 においてもまとめている。

なお、従来は報告者として加藤とともに「道祖神を調べる会」と記してきたが、第 19 号から「市民有志」と表記して別にお名前を記している。今回、写真を含めて報告をしていただいた方及び、調査にご協力いただいた方は、加藤のほか、五十嵐 昭さん・佐々木康賢さん・千葉宗嗣さん・難波陽子さん・光廣秀造さん・山崎 登さん・吉水典子さんである。

平成 22 (2010) 年

〔二本松〕 1 月 10 日（日）午前 8 時から。八幡神社。当日の準備は氏子役員が行う。お飾りなどを積み上げた横に、別に木片等を燃やして団子がすぐ焼けるように 8 時頃より準備した。9 時頃よりお飾り等に火をつけた。中心に竹竿を立てる。先端に注連縄、達磨等の飾り物を付けた。形は昨年と違った形をしていた。団子は町内会で準備した。今年は赤・青・白の三色の団子が用意された。

〔南台 No.40〕 1 月 14 日（木）二宮神社。名称は団子焼き。道祖神なし。氏子と自治会が協力して行う。当日までは境内に「焼納所」と書いた木箱があり、その中にいくつかのお飾りがあった。当日は、自治会のテントの中にたくさんのお飾りが集められていて、午後 4 時になると氏子・自治会の人々が本殿前に集合し、拍手を打ち一礼して準備が始まる。お飾りなどを積み上げた後、四方に竹を立てて注連縄を張った。この頃、本殿から祝詞が流れてきて、しばらくすると神官が出てきてテントの

中に入り、お飾りのお祓いをして続いて外に出て積み上げられたお飾りのお祓いもした。お祓いが終わると点火。勢いよく燃え上がる頃、団子を持ってこなかった人にピンク・緑・白の団子が配られ、金属でできた三叉のものに刺して焼いた。

[上大島・大島団地南] 1月14日(木)午後2時30分。大島団地南の信号の先の畑の中。名称は団子焼き。自治会のような組織は関係なく、手の空いている高齢者が数人でやっている。有志の畑を借りて行う。昔は道祖神の側で行っていた。道祖神は諏訪神社参道入口の近くにある。そこから大島団地南の信号付近の県道そばで行い、その後、現在の道祖神と県道の間地点で有志の畑でやるようになった。昔は櫓を作り、中心に竹竿を立てて先端に達磨をつけて焼いた。団子は各家が作って持ってくる。団子を食べると風邪をひかない。また、火の付いた枝を家に持ち帰り、風呂の種火とした。この風呂に入ると無病息災といった。

[下九沢・御嶽神社] 1月9日(土)午後2時から。御嶽神社。主催・塚場自治会。名称はどんど焼き。準備は町会役員が行う。昔は九沢橋東側の鳩川沿いに道祖神があり、その前で行っていた。その後、別の場所に変更、6年前から御嶽神社境内で行っている。道祖神は下九沢自治会館の敷地に移されている。火をつける方向や人は決まっていない。団子は2mくらいの金属パイプの先端が三本に分かれた針金に3個刺して焼く。

[下九沢・八坂神社] 1月11日(祝)午後1時。六地藏交差点近くの八坂神社。主催・九沢二班自治会、名称は団子焼き。準備は町会役員。お飾りと材木などを焼く。団子は竹を細く裂いて2mくらいの長さにした竹の先端に1個つけて焼く。昔は梅の枝を使った。昔は一辺が50cmくらいの櫓を作り、その中に道祖神を入れ、まわりにお飾りや桑の木の枝等を乗せて火をつけた。中心に竹竿を立て、先端に達磨を付けた。場所は道祖神のそば(大沢団地西側道路沿い)で行っていた。道祖神は焼けて真っ黒になっていた。その道祖神も盗まれてしまい、今は台座だけが残っている。今はそこから1kmほど離れた八坂神社で行っている。

[座間市相武台] 1月11日(祝)午前11時点火。相武台神社。道祖神無。名称はどんど焼き。構成員・相武台神社氏子委員会、自治会、婦人会、子ども会、地区社協、健康普及員。境内にどんど焼き用の炉があり、蓋を取ってお飾り納め所にあった正月飾りを積み上げる。自治消防車が待機するなか、積み上げた正月飾りの回りを酒で清めて何ヶ所かに火をつける。甘酒、ポップコーン、豚汁、団子などが用意されており、親睦を兼ねてとても賑

やかである。団子は各自で焼く。長い棒の先に鉄の串がついたものが用意されている。

[座間市立野台] 1月10日(日)午前10時点火。立野台公園内広場。道祖神は公園にあり、自然石文字碑で昭和54年建立。立野台地区連合自治会役員が準備する。井桁に組んだ材木(古材や竹等があった)の上や回りに当日持参した正月飾りを置く。道祖神には灯明、榊、お神酒を上げる。道祖神の灯明の火をローソクのトーチにいただき、榊とお神酒とともに会場に3人の長老が行進する。焚き木にトーチの火を移し、榊を上げ、お神酒を注いで火入れ式となる。厄払いと五穀豊穡を祈願し、お清めをする。正月飾りは当日に持参することで新年の顔合わせをする。甘酒、うどん、ミカン、焼き芋等が振舞われる。団子は各自で持参して焼く。公園の整備がされるまでは小規模に日曜日に行っていた。

平成24(2012)年

[川尻城北 No.1] 1月14日(土)午後4時。穴川信号そばの田の中。自治会主催。名称はどんど焼き。4時に年男、年女が点火する。今年は小学生が4名。点火する方向は決まっていない。団子は各自用意し、豚汁の振る舞いがある。初老の男性の話では、昔は北側の山の上(明観寺の裏)に道祖神があり、そこでやった。ただし、ここには道祖神碑はなく、近くに庚申塔があるのでこれを道祖神と言ったと思われる。かつては子どもが中心になってお飾り等を集め、少ない時には町田の大戸の方に達磨などを盗みに行った。

[川尻町屋 No.2] 1月8日(日)午後1時。町屋第二公園。自治会役員が点火。方向は決まっていない。高く立てた竹の先端に川尻八幡宮の御札を、八幡宮の方向に向けて取り付ける。団子は各自で用意し、自治会での用意はない。焼き芋、甘酒のサービスがある。消防団が待機する。

[二本松・八幡神社]

①1月14日(土)場所・八幡神社。団子焼きは神社の行事として行う。前日に神社役員が準備をする。団子は500個用意し、団子を焼く竿は二又が多い。火をつける方向は決まっていないが、南が多い。団子を早く焼けるように別に焚き木を燃やしておく。なお、相原では四ヶ所実施しており、そのうち八幡神社以外の森下・当麻田・二本松自治会主催は9日に実施。

②会場の表示「どんど焼き」。ただし、地区内に走らせる広報車では「どんどん焼き」、会話では「団子焼き」と言っていた。荒川当時は団子焼きといった。午前9時点火(1時間の予定)。今年は当たり日が14日でこの日

に行く。今年は移転前の荒川風のものを作ろうということで、準備に時間が掛かるので13日の午前10時から作成した（午前11時40分完成）。今年の総代は荒川出身の者が多く、話が伝わりやすいという。中心の竹は個人の家（八木家）の竹やぶから伐らせてもらう。高さは8～9mある。荒川の時にはこれくらいの高さがあり、燃やすものはもっと大きかった。荒川の時はそれほど広い場所ではなかったが河原で行い、神社に集めたお飾りを子どもが河原に持って行った。また、お飾りだけでは足りないため子どもたちが笹刈りをした。中には川から流れてくるジャンガラ（桑の根）を詰めた。こちらでは神社境内でそれほど大きく燃やせない。縄で周りを巻いていた。上側に横の飾りを付け、交わったところや何ヶ所にダルマを付けた。昔はダルマを家に飾る家がそれほどなくこんなに数はなかったが、そのかわり大きなダルマだった。ダルマを東に向けて、東の方角から火をつける。燃えたものは西に倒した。当日は役員は8時集合で、団子の用意をする。団子は500個で氏子への還元の意味もある。八幡神社で行っているものは二本松自治会とは関係がない。荒川から越してきてずっと続けていたが6～7年前にダイオキシンの問題で一時中止後復活。ただし、荒川のようなものを作るようになったのはここ数年である。

〔神明大神宮 No.5〕 1月14日（土）午後1時。場所・神社境内。名称どんど焼き。石碑なし。構成員は神社氏子で、1時より準備し、1時30分点火、2時30分より団子焼き。団子は各自が用意した。

〔橋本1丁目など五自治会 No.6〕 1月14日（土・2010年は10日〈日〉）午後1時30分～。場所・こどもセンター。名称どんど焼きで石碑はなく、どんどやき実行委員会が実施。今回は運営委員長の挨拶があり、司会をこどもセンターの人が行った。辰歳生まれの年男年女（ともに五年生）の代表が点火して始まった。その後、世話人が火の調整をして30分後に団子焼きがスタートした。最後は例年通り、おみやげをもらって帰った。

〔橋本3丁目新町自治会 No.7〕 1月8日（日・2010年は10日〈日〉）午前10時。場所・小山皮膚科医院駐車場。名称どんど焼き。道祖神石碑なし。自治会長の挨拶で始まり、団子は自治会で準備した。甘酒や豚汁も用意され、餅つきも行われた。なお、2010年の掲示物には、雨天の場合は11日に延期、本部役員は8時30分集合、注連縄や破魔矢・お守り等を集めて焼く行事でこの火で焼いた団子を食べると一年は風邪を引かないと言われていとある。

〔東橋本南自治会 No.8〕 1月7日（土・2010年は9

日〈土〉）午前11時。場所・東橋本公園。名称どんど焼き・餅つき。石碑はなく、構成員は東橋本南自治会と子ども会。自治会長と子ども会会長で点火され、木炭も用意されて30分後に団子焼きが始まった。餅つきも行われ、お汁粉や甘酒なども振舞われた。

〔橋本4丁目（小山寿町・高砂町・本町自治会） No.9及び No.10〕 1月14日（土・2010年も14日〈木〉）午後2時。場所旧火の見やぐら跡。名称どんど焼き。石碑なし。2時30分点火、3時より団子焼き。団子は各自が用意した。2010年の掲示物では、14日（木）午後3時～5時、4丁目火の見櫓跡（いつもの場所）、橋本4丁目・小山寿町・小山高砂町・小山本町・橋本4丁目団地自治会、どんど焼きの餅で一年の健康を祈願、餅は持参、餅竿は用意とある。

〔小山高砂自治会〕 1月15日（日）午前10時から。高砂こどもの広場。石碑なし。名称どんど焼き・餅つき。例年はどんど焼き14日、餅つきは第三日曜日に行っていたが、今年は15日に一緒に行った。10時からどんど焼き、10時30分～団子焼き、11時～餅つき。団子は各自が持ち寄る。

〔小山久保町自治会 No.11〕 1月14日（土・2010年は11日〈祝〉）午前11時。ひまわりホーム駐車場。名称どんど焼き・餅つき。石碑なし。自治会で餅つきを行い、その傍らでどんど焼きを行う。その後、各自が団子を持ち寄り、団子焼きとなる。

〔宮下 No.12〕 1月14日（土・2010年は11日〈祝〉）午後1時。こぼと児童館庭。名称団子焼き。石碑なし。宮下自治会・高砂会・こぼと児童館主催で、1時から自治会がどんど焼きを行い、その後、児童館で用意した団子で団子焼きが始まった。

〔すすきの自治会 No.13〕 1月15日（日・2010年は11日〈祝〉）午前11時30分。場所すすきの公園。名称どんど焼き。石碑なし。どんど焼き点火11時30分、餅・団子焼き13時より（ポスターで確認）。

〔氷川神社 No.14〕 1月14日（土）午後2時。氷川神社氏子が主催で10名程度の氏子が準備。燃やすものは御札や門松の竹のみで作る。お飾りはテントの中にある。団子焼きの竹約50本は神社側で用意する。串は太い針金で二又に作られ、一本につき団子を2個つける。点火用の松明は木札を細く割って作る。本殿の中で神主と総代が祝詞の後、ろうそくに火を貰って松明に点火する。神主が火をつける前に祝詞を四方にあげ、午後2時に松明から火を移す。特に方角などの決まりは無い模様。点火して数分で団子焼きが開始され、お参りに来た人は無料。団子焼きの途中でダンボールに満杯に納められた御

札(20箱分)を火の中に放り込む。門松の竹も火に投じる。神社に参拝に来た人のみで子どもたちの数は少ない。

【村富神社】 どんど焼きは5年ほど前から中止し、行っていない。神社に納められた御札は燃やし、お飾りは処分する。御札のお焚き上げは14日の2時から氏子10名くらいで行う。

【淵野辺・山王 No.17】 1月14日(土)午後4時30分から(実際には神主が早く来たので4時点火)。山王ふれあい広場。名称・団子焼き(どんど焼き)。この場所になったのは昨年からといい、それまで地藏講中で行っていたものが自治会の主催になった模様。地藏のところに「道祖神世話人」と書かれたお飾りを納める箱が用意されていた。

【淵野辺・中淵自治会 No.19】 1月14日(土)午後3時点火。なお、中里橋横(No.18)は場所が河川工事関係のため使用できず、実施されていなかった。

【淵野辺・古淵 No.20】 1月14日(土)午後5時点火予定だが、団子を持った人が出てこないで境内の鐘を衝いた。次第に集まってくる。鹿島神社社殿裏側に、中にお飾りを入れたお宮と向かって右側にやや大型の枝を中心としたものを作り、先にお宮に点火する。お宮には灯明が供えてあった。古くは棒を立てて回りに燃やすものを付けて高く作った。お蚕様の祭りで、養蚕をやれば家に繭玉を飾る。今は蚕をしないので繭の形にはしない。トッケエ団子を行う姿が見られた。

【淵野辺・新淵自治会 No.21】 1月15日(日)午後1～3時。大野小学校庭。名称どんど焼き。正月飾り・書初め持参。自治会掲示板に一つ目小僧の帳面の由来を書いた解説が書かれていた。

【大沼神社 No.27】 1月14日(土)午後3時点火。大沼公民館区では、大沼自治会(大沼ふれあい広場で8日<日>午後実施)、東通り自治会、若松自治会、大沼神社で行われている。昔は子どもが一軒ずつ藁を集め、竹と一緒に小屋を作っていた。場所は神社とふれあい広場前(かつてはここには中里家しかなかった)で二つあり、それぞれのものを子どもたちが壊しに行った。それで外側にバラの木を結わいて護った。燃やすもの前には道祖神碑が置いてある。火を点ける前に前側に離す。元は燃やしていた(現在の道祖神は三代目?)。周りをまず時計回り、次に反時計回りに塩と酒を撒いてお清めをして点火。燃やしてからお神酒となった。その年のあきの方に正面を向ける模様。

【鶴野森自治会 No.29】 1月9日(祝)午後1～4時。鶴野森こどもの広場。名称どんど焼き。午後1時の10

分ほど前に役員が道祖神碑に向かう。天眼鏡で太陽の火で半紙に火を点けようとするがなかなか点かず燐寸を併用する。その火で蠟燭と灯明に火を移し、灯明を道祖神に供えて塩や米・水とともに拜んで、お飾りに油を掛けたものに火を移し、会場に持って行く。燃やすものを二つ作っており、すぐに二つともに同時に点火する。火を移すお飾りなどは、道祖神碑前にある大久保家に預けてある。会場には自治会のテントがあり、酒や団子・ミカンなどを配っている。団子を挿す三つ又の枝も会場内に用意してある。横にはバーベキュー式の団子をあぶる所を作っており、これは今年三年目。また、木ではなく金属製の団子を付けるものも今年から用意した。現在の場所になって古いが個人の土地であり、将来はどうなるかわからない。なお、今年は賀詞交換会も含めて8日のところが多く、市内で50～60ヶ所あったという。鶴野森自治会は1600戸ほどある。

【上鶴間・谷口竹之内 No.38】 1月14日(土)午後12時45分。金山神社。すでに境内に古い道祖神碑が置かれている。元の道祖神があった辻のところで点火して火種を持ってくる。燃やすものに点火して五分後には道祖神碑を現在置かれている境内の一角に戻す。以前は火にくべて竹で引っ張り出した。道祖神を境内に持ってきてからはその前でやっていた。ここでは、昨年新しい据付の道祖神碑が造られた(場所は固定され、火のそばに持ってくることはしない)。なお、山野は踏み切りの手前(広場分)と双体像(山王神社)の二つの道祖神碑があるので別々に団子焼きを行う。山王神社に3時過ぎに到着するとおおよそ終了しており、まだ来ていない家を数えて待っている状況という。

*上鶴間谷口(7か所)の状況。いずれも14日の午後実施。第一町会一竹之内 金山神社 午後3～5時/第二町会一丸山 バラ山稲荷下こども広場/第三町会一中村 農協の裏側/第四町会一青柳寺前の道を登って踏み切り手前 3時点火?/第五町会一農協の先、線路を渡って左側の公園/第六町会①—山野 谷口交差点裏側の広場/第六町会②—山野 山王神社。山野は広いので二つで行う。

【上鶴間・中和田 No.39】 1月14日(土)午後1時点火。風っ子広場。

【上大島・諏訪神社】 上大島自治会と諏訪神社の共催で、今年から上大島全体でどんど焼きを行うようになった。上大島ではこれまで講中単位で行ってきたが場所や費用の関係で今年から自治会とお宮が合同で一ヶ所で実施となった。講中ではやめたところが多い見込みだが、一部の地区では以前と同じようにやった所(講中単位?)も

あったようである。行事名はどんど焼きで統一するという。午前中に準備中で、団子は300個用意された。午後2時に神社の太鼓を打ち鳴らし、その後、自治会長と氏子総代の挨拶があり、役員が点火した。

〔大島・常盤自治会 No.44〕 1月8日(日)。掲示板：大島常盤自治会 だんご焼き 午後1時～3時30分 日々神社境内 小雨決行 当日午前9時より境内所定の場所へ出す 他ゲーム・模擬店(まゆ玉・甘酒・焼きそば)・豚汁・あんこ餅・きな粉・野菜直売・抽選会。協賛 日々神社総代会 常盤女性会 常盤みどり組合 常盤スポーツクラブ 3支部中学PTA 3支部小学PTA 常盤子ども会 常盤消防団

〔上九沢自治会〕 自治会主催で、内出の信号そばの稲荷社、八坂神社、梅宗寺の三ヶ所で行われ、どの場所に行っても良い。団子は自治会で用意したが、これは準備できない子どものために原則は各自が用意する。午後2時頃から焚き木を燃やしておいて、3時になったらお飾り等を投げ入れる(八坂神社の場合)。

なお、掲示物によると、1月1日 午前7～10時 八坂神社境内 初詣賀詞交換会(餅つきあり)。元旦地区内 上九沢離子連による獅子舞が地区内巡行。8日 午後3～5時 どんど焼き。場所・観音様境内 八坂神社山中稲荷境内(各組で指定された場所)。上九沢は三ヶ所で行い、現在、第二日曜日前後に実施。団子を食べてその年は病気をしない、災難に遭わない。三つ又の木や梅の枝に団子を挿して焼く。焼くものは、お札・お飾り・書初め、ダルマや古い雛人形は可だがプラスチックは不可。

〔大島・古清水自治会 No.45〕 1月15日(日) 午前10時準備、午後2時点火。相模川河原の神沢のスポーツ広場で実施。

〔田名・清水自治会 No.46〕 1月8日(日)。掲示板：午後1～4時 荒天の場合9日(祝)、14日に延期。団子と棒は持参、希望者(事前申し込み)には200円で頒布。お飾り・注連縄などは前日までにお不動様へ出す。

〔上溝・本町 No.50〕 1月15日(日) 上溝本町ダルマ市。午後4時から。

〔上溝・石橋自治会〕 1月8日(日) 午後1時。石橋自治会館。名称どんど焼き。お飾りを積み上げてバーナーで火をつける。近所の人がお飾りを置いていき、子どもたちも集まり出す。火が下火になったところで、自治会手作りの団子を子どもが主体で焼く。鉄の棒の先に二又の針金に団子を二つ付けたもので、子どもにとってはかなり重く、棒の途中にブロックや二又の木を置いて重さを軽減する。焼けた団子を受付に持っていくと皿に団子

ときな粉餅を入れてくれる。お飾りは順次火の中に投げ、3時まで燃やし続ける。

〔上溝・石住自治会〕 1月8日(日) 午前9時。石住こども広場。始まる前にも焚き火をしていて、9時に付近の住民の持ってきたお飾りを火の中に投じる。見物人や子どもは少ない。団子は一人が自前で持ってきて焼いた。集まったお飾りがなくなったところで終了し、自治会役員の手料理で乾杯する。なお、石住こども広場は、今年広場としてなくなるそうで、来年にはかわりの空き地がないためどんど焼きは続けられないという。

〔上溝・横山小学校 No.57〕 1月8日(日) 午前11時。場所・横山小学校校庭。主催・横山地区自治会連合会。

協力役員は90名で各自自治会から選抜。協力団体は「横どん会」10名。準備は8時から11時で燃やすものは二つ作る。持ち込まれたお飾りの受付と分別作業をする。細かい針金一本も分別する。芯のところに木材、回りにお飾りを積み上げる。芯にする竹の中ほどに達磨が二つ取り付けられた。団子は竹竿200本用意し、竹串を針金で固定して団子3個を串に刺す。また、団子自体は先着1000人分用意して、団子焼きの途中で竹竿を回収しては団子を付けるので準備に追われる。点火式は11時で、自治会連合会会長から、公募される今年の干支生まれの人に火を分け、手分けして火をつけると勢いよく燃える。アトラクションとして和太鼓やよさこい、お囃子があり、達磨の販売もある。アトラクション、天馬太鼓・横山こども囃子連・相模原祭人THE翼。午後1時30分終了。

〔横山・すこやか保育園〕 1月16日(月)。すこやか保育園庭。ゼロツーテン(ボランティア)10名協力。木材を組み立て、紙類はなし。にわか神主が祝詞を上げる。園児たちは竹に刺した団子を持って用意している。大人が手助けして団子を焼く。焼けた団子は一人に1個ずつ分け合う。なまはげのアトラクションがある。

*中央地区(中央公民館区)のどんど焼き日程(公民館HPによる)。1月8日(日) 午前9時～相生自治会・相生東公園/午前9時～弥栄自治会(No.60)・栄公園/午前9時30分～栄自治会・栄公園/午前10時～高根2丁目自治会・高根チビッコ広場/午前11時～富士見4丁目自治会・富士見公園。1月15日(日) 午前10時～富士見3丁目自治会・相生公園/午前11時～中央3丁目自治会・中央3丁目大森駐車場。

〔原当麻自治会 No.63〕 1月14日(土)。午前8時点火。前は6時とか6時30分に点火したが、なるべく多くの子どもに来て欲しいということで遅くなっている。今年は当たり日の14日が土曜日なのでこの日に行い、そうでないと連休の時になる(これも子どもに来て欲しいた

め)。浅間神社で実施。9日(祝)は準備。午前9時20分頃、お仮屋作りが始まっている。並行して燃やすものも作る。10時前に終了。14日。正月飾りを燃やしてその火で団子を焼いて食べるとその年は無病息災。団子を食べると風邪をひかない。昔はタクワンを持ってきてお神酒のつまみにした。繭玉は梅の木に飾った。道祖神は昔は神社から出た県道の所に交番があってそこにあった。お仮屋もその横に作った。

[下溝・新屋敷自治会] 2月5日(日)。稲荷社境内。新屋敷では正月飾りを1月ではなく2月の稲荷講の際に燃やしている。昔からこの時に正月飾りを燃やしていて、正月の団子焼きは行わない。正月飾りを燃やすことをオタキアゲという。新屋敷の子どもは堀の内と松原が団子焼きをしているところへ団子を焼きに行ったが、向こうに行くとよそ者が来たというような感じだった。団子を焼く木は山へ行って三つ又の木を取って来た。稲荷社がかつては福田家の畑の中の一角にあり、福田家の神から次第に新屋敷全体の神となった。稲荷講は昭和40年頃から自治会の持ちまわりとなり、自治会の班が順番で担当する(今年は12組ある中の7班。なお、新屋敷自治会は現在140軒、かつては20世帯くらいだった)。かつては年に一軒ずつ順番に回った。また、現在は、自治会とは別に稲荷の世話人がいる。午前8時30分に7班が集合して幟立てなどの準備を始め、9時に開始された。10時までの予定となっていたが終わる気配なし。竹のオミキスズやうるち米の小豆飯、メザシ、油揚げを上げる。お飾りを燃やして供えられたメザシや油揚げを炙って食べながら酒を飲む。小豆飯も分けて食べる。終了後には稲荷(神社)関係の会計を世話人がする。明治期の古い旗は伏見稲荷から貰ってきたもので、今は二代目の旗を使う。旗は午後3時30分にしまう。

[下溝・堀の内など四自治会 No.68] 平成23年度から中止。

[上新戸 No.78] 1月8日(日)午前9時点火。準備7時から。消防の関係で、新戸の他地区も8日に実施する。

[三ヶ木原替戸(旧津久井町)] 1月15日(日)午前9時。原替戸自治会館前。

[根小屋中野(旧津久井町)] 1月8日(日)午前8時点火。集落下の空き地。根小屋中野自治会。役員からも今年の団子焼きは日が早い、普通は14日ではないかとの声あり。薪を井桁に組んで粗朶などをたてかける。周りを竹で囲んで竹から縄を出して中央の竹に結びつける。火をつける前に周りを酒で清める。昨年は子どもが一人しか来なかった。今年も今日、鳥屋で少年野球があるので少ないのではないかという。なお、根小屋では明日原も8

日午前9時点火。今日はいろいろなところで実施(久保田酒造の近くで大きな煙あり)。途中、小倉では橋下の河原に燃やすものが出来ていた。

***串川地区(旧津久井町)「団子焼き」(地域振興協議会だより)** 寺沢自治会・15日(日)／谷戸自治会・15日(日)午前7時、自治会内広場、今年から自治会中心／葦尾根自治会・15日(日)、日月様神社前／関上自治会・15日(日)。

***青根地区(旧津久井町)「団子焼き」** 荒丸・15日(日)午後／東野・9日(祝)午前6時30分／上野田・14日(土)午後3時／上青根・15日(日)午前6時／音久和・15日(日)午前7時／大川原不明。

[座間市上小池] 1月9日(祝)午後2時。上小池・東原庚申塚広場。名称どんど焼き。道祖神は七重塔型、無銘で年代不明。庚申塔も三基ある。前日に広場の中央に重機で穴を掘り、焚き木を運んで準備する。上小池と下小池の二か所で行われる。

[座間市下小池] 1月9日(祝)午後2時。下小池・セーノ神坂下の道祖神前。名称どんど焼き。道祖神は1721年で座間市内最古で舟型光背形・単立拱手像。1674年の庚申塔もある。自治会・婦人会・子ども会で行う。道祖神のお仮屋は前日に藁で作る。当日、自治会館で団子、甘酒を作り、団子用の桑の枝も用意する。道祖神前の道路で枯れ枝や正月飾り等に火をつける。焚き火から藁束に火を取り、お仮屋に火付けしてから、「セーノ」の掛け声でお仮屋を焚き火に放り込む。昔は14日に行っていた。

[座間市上栗原] 1月14日(土)午後2時。上栗原・石造物群(六字名号塔・文字道祖神・秋葉山供養塔・出羽三山供養塔)。名称どんど焼き。秋葉山講中17~18名で実施。2時頃より道路向かいの民家の庭に、正月飾りや雑木等をトタンの上に運び、地元で「みたま石」と呼ぶ石を二つ置いて火をつける。団子は各家で作って持参する。どんど焼きは14日に行い、これからも14日で行う予定。

[町田市・木曽町境川] 1月8日(日)準備・午前9時集合、団子作り・枝加工、お飾り持込・午前11時まで、午後1時点火、その後境川自治会のみ新年会、どんど焼き終了後八坂会館で午後4~6時。場所は八坂神社境内。町田市境川・中原自治会主催。名称どんど焼き。

午前9時45分頃に八坂神社に行くとすでにかなり準備が進んでいた。新しい道祖神碑(平成20年2月造)を社殿前に置いてそこから縄を伸ばし、道祖神やその縄にも各家からのお飾りを乗せる(会話の中では子どもの頃にはこんなことはしていなかったという話もあり)。

道祖神の方から点火していく。普段は道祖神碑は道路一本向こうの庚申塔などと一緒にある。古い道祖神碑（文化5年4月・文字道祖神・木曾村）はこれ以上燃やすと字が見えなくなるということで今は境内に置いてあり、燃やすところに持ってくることはしない。会館の中では女性が団子の準備をする。団子は別の場所で蒸かして持ってくる。枝の用意は外で男性がしている。準備は役員だけでなく、一般の人もしている。人数が多いので今年は早く準備が済んだ。三又の団子は300本くらい用意する。枝は生が良くてすっと伸びるケヤキが良いがあまりない。自治会によっては竹を割ってそこに団子を並べて付けるところもある。また、今年から中原自治会も加わっている。ここはやったことがなかったが、正月飾りをゴミに出すのはいやだということで話が出て、いろいろな会合でも境川自治会と一緒にやっているため合同でやろうということになった。準備の後、弁当なども一緒に食べる。行事を通じて地域の仲間を作る目的もある。午後に再び訪れると点火の準備で、火事除けとして周りの清掃をしている。消防団も来るが今日はお初式なので顔を出す程度。実施には消防に届けを出す。点火式の協力、手伝いとして辰年生まれの年男年女を募る。1時に

自治会長が社殿前の灯明から破魔矢に火を移し、それをさらに年男年女が持つ破魔矢に移して点火する。なお、社殿にも団子が供えてある。午後2時15分には道祖神を通常の場所に戻す。焼いた団子はみな持ち帰り、神棚に供えたりする。昔は神棚の灯明もこの火を持ち帰ってつけた。また、団子は厄除けとなり、団子を付けた枝は泥棒除けになる。

ずっと昔は田んぼでやっていた。この場所に移ってからも結構古い。また、道祖神のお宮のある反対側のところでもやった。昭和20～30年代の田の方でしていた頃には子どもたちが麦からを集めて小屋を作った。農家でない家はお金を出した。この頃にもセーノカミ（道祖神碑）を持って行き、今のように飾っていた。名称は古くは団子焼きといい、当時は境川講中で行い、講中には7～8軒しか家がなかった。

なお、15日（日）は町田市境川団地のどんど焼きで、午後1時30分～3時30分（雨天中止）、甘酒・団子が無くなり次第終了。場所はさかいがわ会館横遊水地。お飾り等持参、豚汁100円（一人一杯）、甘酒・団子無料。

主催は町田市青少年健全育成忠生第六地区委員会。



1 川尻城山



2 二本松 (竹を伐り出す)



3 二本松



4 二本松 (かつて住んでいた荒川集落風なものを作る)



5 二本松



6 小山



7 橋本3丁目(火防せの秋葉の掛軸を飾る)



8 橋本3丁目



9 氷川神社



10 氷川神社



11 氷川神社



12 氷川神社



13 山王



14 古淵 (道祖神のお宮)



15 古淵 (手前がお宮。奥にもう一つ燃やすものを作る)



16 古淵 (お宮から先に点火する)



17 古淵



18 古淵 (トッカエ団子)



19 大沼



20 大沼 (道祖神碑を飾る)



21 大沼 (普段はこの場所にある)



22 大沼



23 大沼



24 大沼 (燃やす時に前側に運ぶ)



25 鵜野森 (道祖神碑の前で点火)



26 鵜野森 (点火して火を松明に移す)



27 鵜野森



28 鵜野森



29 鵜野森



30 金山神社 (新しく造られた道祖神碑)



31 金山神社 (かつて道祖神碑のあったところで点火)



32 金山神社 (右側に古い道祖神碑が置かれている)



33 金山神社 (点火すると道祖神碑を戻す)



34 金山神社



35 上鶴間・山野 (山王神社)



36 上鶴間・山野 (広場)



37 大島・諏訪神社



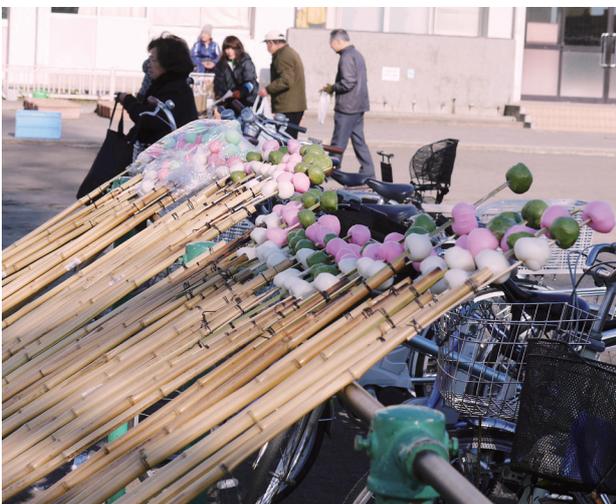
38 石橋自治会



39 石橋自治会



40 石住自治会



41 横山小学校



42 横山小学校



43 横山小学校



44 横山小学校



45 横山小学校



46 横山小学校



47 横山小学校



48 横山小学校



49 原当麻 (道祖神の小屋)



50 原当麻



51 原当麻 (書き初めを燃やす)



52 原当麻



53 原当麻 (小屋を運んで燃やす)



54 新屋敷・稲荷社 (初午)



55 新屋敷



56 新屋敷



57 新屋敷



58 新屋敷



59 新屋敷



60 根小屋中野



61 根小屋中野



62 座間市・上小池



63 上小池



64 座間市・下小池



65 下小池



66 下小池



67 下小池



68 座間市・上栗原



69 上栗原 (手前にみたま石が見える)



70 町田市木曽町・境川 (道祖神碑は運ばれていて見えない)



71 境川



72 境川 (右側に置いた道祖神碑からお飾りをのぼす)



73 境川 (現在は燃やしていない古い道祖神碑)



74 境川



75 境川 (年男男女女による点火)



76 境川 (道祖神碑のところから点火して移していく)



77 境川



78 境川 (道祖神碑を元に戻す)



79 境川 (戻された道祖神碑)